

第5学年 道徳学習指導案

1 主題名

すれちがい 内容項目 2－(4) 寛容・謙虚

2 ねらい

社会生活の中で、広い心で自分と異なる意見を寛容な心で受け止め、尊重する心情を養い、相手の立場を考えながら、謙虚な心をもって接しようとする態度を育てる。

3 資料名

「すれちがい」 谷口清子作 『みんなのどうとく』

4 主題設定の理由

(ア)ねらいとする道徳的価値について

人は自分の立場や考えを基準にして、物事を判断したり、行動したりすることが多い。その際、相手の立場を深く考えず、寛容でない行動をとってしまいがちである。しかし社会生活の中では、良好で深い人間関係を保つには自分本位では成立しにくい。相手の立場を考え、謙虚な心をもって行動しようとする心が大切である。

(イ)児童の実態（児童観）

5学年の児童は明るく、大変素直である。日常生活の中でも他学級や他学年の児童と仲よく遊ぶことができる。授業については集中して取り組み、発言も多く、意欲的に授業に参加することができる。

一方、児童同士でけんかをしてしまったり、お互いの気持ちを理解できずにトラブルになってしまったりすることがある。その原因を一緒に考えていくと、自分の立場や状況をうまく伝えられなかったことが多い。その後、それぞれの立場や状況を説明することで、児童がお互いのことを理解し、和解する場面も多くある。そこで本主題を通して、児童が人の相手の立場を考え、謙虚な心をもって行動することが大切だと気付かせたい。

(ウ)資料について（教材観）

本資料は同じ出来事を2人がそれぞれの立場から日記を書いた資料である。行動のすれ違いから感情を対立させてしまうことになった事実を通し、広い心で相手の立場を考え自分と異なる意見も大切にすることを育てる。このようなすれちがいは日常生活の中でも見られることであるため、児童も自分の経験を振り返りながら考えることができるだろう。

(エ)本時の中心となる手だて(指導観)

前半部分では、よし子とえり子の日記を読み、それぞれの行動や気持ちを理解させ、お互いに足りないものを考えさせる。後半部分では自身の経験を振り返り、自分の行動は相手の立場を考えたものであったか考えさせる。そして、今後の生活でどのように児童がどのように行動したり、人と接したりすることが大切であるか考えさせる。

5本時について

(1) 日時 平成29年10月31日(火) 5校時

(2) 場所 5年2組教室

(3) 本時の展開

	学習活動 ○発問	・児童の発言	☆評価 □留意点
導 入	1, 友達とのトラブルの経験について話し合う。		□ねらいとする価値のへの意識づけを図る。その際にどちらが悪いという考えにならないようにする。
展 開	<p>2, 資料「すれちがい」を読み、よし子とえり子の気持ちをそれぞれ比べながら考え、話し合う。</p> <p>(よし子の日記を読む。)</p> <p>○どうしてよし子は腹をたてたのでしょうか。(①)</p> <p>(えり子の日記を読む。)</p> <p>○つんと横を向いたよし子を見て、えり子はどんな気持ちだったのでしょうか。(②)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎どうして2人はすれちがってしまったのでしょうか。</p> </div> <p>グループで出た意見を発表しあう。</p>	<p>・長い時間待ったのに来ないなんてひどい。</p> <p>・約束を破るなんて許せない。</p> <p>・わたしの話も聞いてほしかったのに。</p> <p>・おつかいを頼まれたから、約束を破るつもりなんてなかったのに。</p> <p>・自分のことだけを考えて行動してしまったから。</p> <p>・相手の状況や気持ちを考えていなかったから。</p>	<p>□よし子の日記を読み、次にえり子の日記を読むことで、行動の時間的な経過をとらえさせる。</p> <p>□児童の机にはそれぞれの日記のプリントを配布し、時系列をつかませるようにする。</p> <p>□黒板を分割して板書し、児童によし子とえり子の行動や気持ちの変化を把握させる。</p> <p>□①・②の発問はペアでの話し合い活動を行う。</p> <p>☆よし子とえり子の立場になってお互いに感じた気持ちを表現できる。(発言)</p> <p>□3人もしくは4人グループで話し合い活動をさせる。</p> <p>□ワークシートを配布する。</p> <p>□行動だけでなく心情も考えさせるようにする。</p> <p>☆自分の気持ちだけでなく、相手の立場を考えることに必要性に気づくことができている。 (話し合い活動・ワークシート)</p>

終末	本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で思ったことを書き ましょう。(④)	□④については個人で考えさせワークシートに記入させる。 ☆本時の学習したことから、自分の思いを表現することができている。(ワークシート・発言)
----	--	--

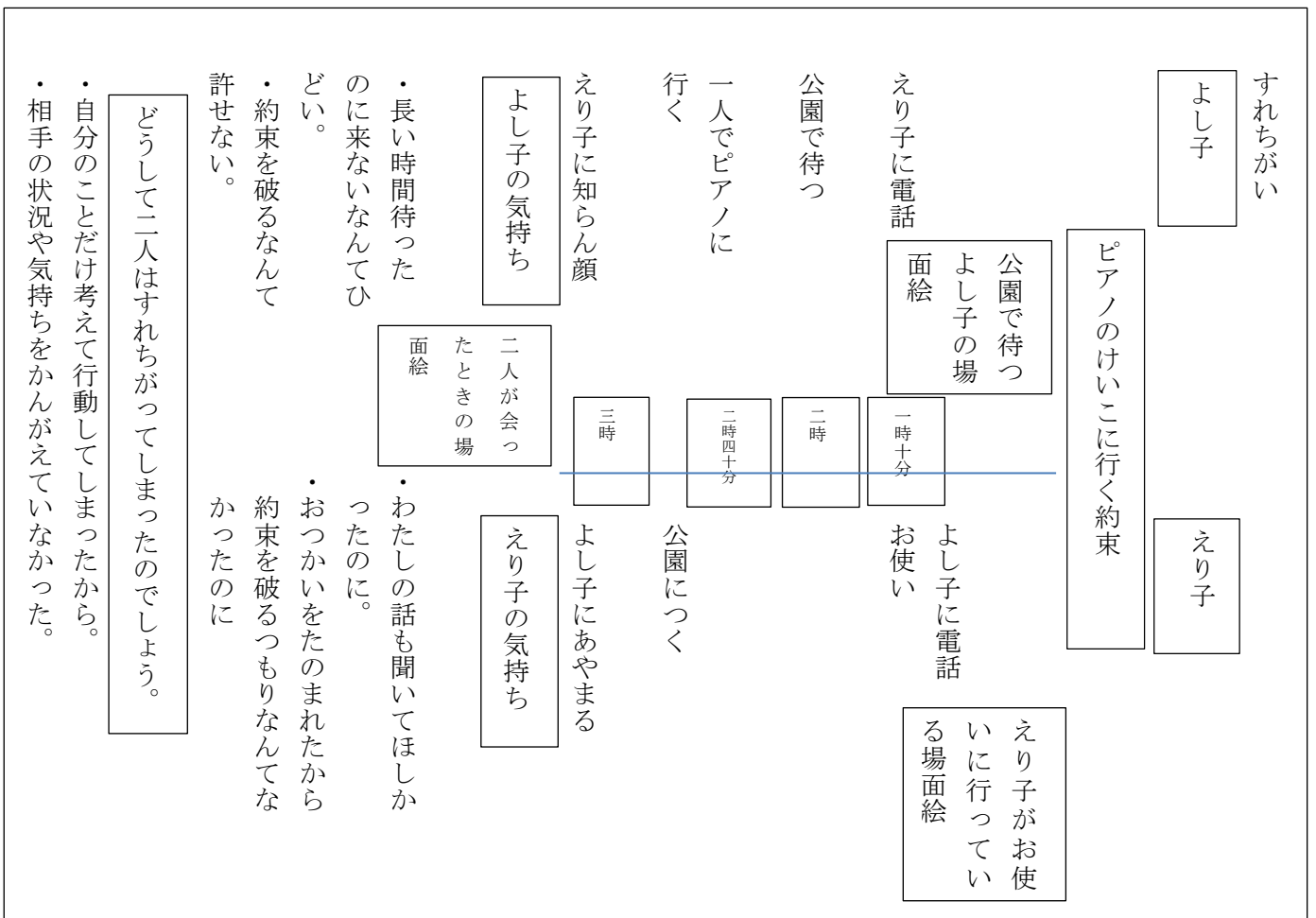
6 評価

- ・広い心で自分と異なる意見を寛容な心で受け止め、尊重するについて考えることができたか。
- ・相手の立場を考えながら、謙虚な心をもって接しようとする態度を育成することができたか。

7 事後の指導

- ・学級活動
- ・わたしたちの道徳
- ・教科学習

8 板書計画



9 授業の成果と課題

- 児童が積極的に発言をしていた。ペア学習・グループ学習でも自分の意見を友達に発表することができていた。
- 2人の日記を別々に読み、時間軸を板書して内容を整理することで、お互いの状況を理解しやすかった。
- 共感的な態度でとらえ、自分の日常生活と関連付けて考えることができていた児童が多かった。それは、ふとしたつぶやきからも感じられた。
- 自分の気持ちを表現しづらい児童もいたが、ワークシートに自分の考えを書こうと努力する姿が見られた。

△ペア学習やグループ学習で対話的な活動をすることができるようになったが、話し合いの内容を深めるまでには時間・支援が必要だと感じられた。児童自らが気づくような発問や声かけを研究していく必要がある。

△登場人物の女子2人の気持ちを考える際に、自分本位の考えしか浮かばなかったり、1人の都合だけ考えて気持ちを表現してしまったりする発言があった。それぞれの立場を客観的にとらえることに慣れていない様子が見られた。

△中心発問「どうして2人はすれちがってしまったのでしょうか」では、行動面だけにとらわれてしまい、本時のねらいである「相手の立場を考えていなかったから」という部分まで考えを深められた児童が少なかった。教員の助言で行動面として現れる一因となった心情面を考えることができた児童もいたが、終末部分でも心情面を考えられなかった児童も見られた。表面的な課題のみにとらわれず、深く考える力に課題がある。

△学年の児童は大変素直であり、資料の登場人物の心情に寄り添うことができていたが、幅広い視野で考えることには慣れていない様子が見られた。今後はいろいろな視点から物事を考えられるような授業を計画していきたい。


すれちがい
どうして二人はすれちがってしまったのでしょうか。

名前 ()

・えり子さんが電話をするときの時間を二人で相談すればよかった。
・おたがいの意けんを言わなかった。
・画電話がかかてきたのに、よし子さんがでなかったから。
・えり子さんがお母さんについておけばよかった。

今日の学習で思ったことを書きましょう。

この学習で学んだことは、友達とすれちがいになってしまったら、相手のことも聞いたり考えたりすることがとても大事な事だということが分かった。



すれちがい
どうして二人はすれちがってしまったのでしょうか。

名前 ()

・えり子さんは自分の状況も分かって欲しいのになら、たり、態度は悪いのに分かってくれないから。
・よし子さんは、自分を勝手に決めてしまったから、あんなに行動してしまっただけ。

今日の学習で思ったことを書きましょう。

今日の学習で思ったことを書きましょう。今日の学習で学んだことは、自分勝手に行動するのはいけないことだ。自分以外の人の気持ちも聞いたり、助け合いで行きたい道を選びたい。クラス以外の人も、学年以外の人も、一緒に考えよう。



すれちがい
名前 ()

どうして二人はすれちがってしまったのでしょうか。

- ・スリヤさんがある「よし子」が来ては外に出たが、そして外に出たことにより、てんねんちゅうらなり、た。
- ・スリヤさんをする時間を決めればよかった。
- ・おたがいのいづんをいえはよかった。

今日の学習で思ったことを書きましよう。

この学習で、学んだことは相手の気持ちを考えて、友達とよくしゃべったこと。お家の人に話しをしとく。そして、せうだんする時は、スリヤさんをして、いづんのことを生活の中にいかにしていきないます。



すれちがい
名前 ()

どうして二人はすれちがってしまったのでしょうか。

スリヤさんとよし子は、おたがいのいづんが、あまのにおたがいの気持ちを理解できなかったから。

今日の学習で思ったことを書きましよう。

おたがいの気持ちが、かたがたなくとも、もうすこし待つてみたり、相手の事を、しょうを聞いてみたり、あまりすれちがわれないと思うので、すれちがわれないように気を付けていきたいと思います。

